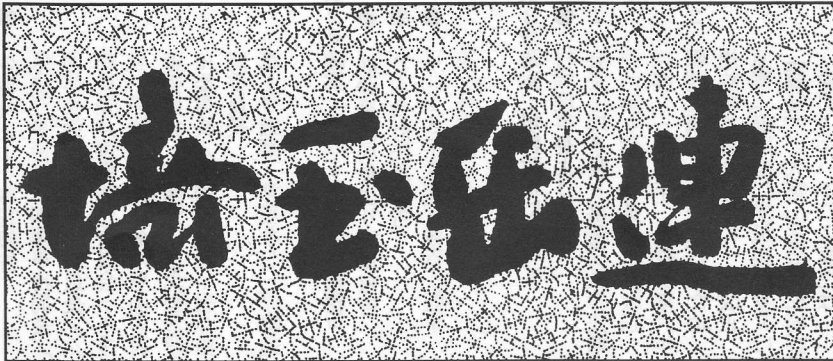




埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第27号

発行者 田中 文男
発行所 埼玉岳連事務所 村岡正己方
〒340-0211
鷺宮町鷺宮団地1-28-407
編集人 岩井田 正昭
発行部数 1600部



平成19年度評議員総会開催される 田中会長の挨拶

【平成19年度評議員総会報告】

- 1 期日：平成19年4月15日（日）午後2時～5時
- 2 会場：大宮ソニックスシティ・603号会議室
- 3 出席者 ※敬称略

◆ 評議員 : 21名

内野 操、岩武成秋、三ツ木達男、田中文男、掛川統之、佐藤 求、芝田信子、天野賢一、松崎 達、石倉昭一、塚越国雄、小高英雄、宮田征治、長谷川茂、湯元 昇、岩崎繁夫、森下健七郎、矢萩 実、斉藤 恵、柳原政一、大平征徳、

◆ 代理出席者数：8名

渋谷直克、坂田文男、内田達也、内野安登、原口隆裕、工藤寿人、田中弘明、計良寿彦

◆ 委任状数 : 11名

関根善昭、飯島雄二、小川 晃、原 秀夫、深沢 巧、高橋哲也、黒田重晴、澤田正博、平野新一、柳下明男、古峰 孝

◆ 合計 : 40名

◆ 理事出席者数：26名・（7名評議員・重複）

田中文男、瀬藤 武、渋谷直克、野村善弥、堀江伸子、天野賢一、塩谷壽子、萩原健太郎、加藤富之、小高英雄、桜井勝伸、長谷川茂、原口隆裕、岩崎繁夫、大倉 至、小茂田利孝、鎌田雅浩、大石智章、村岡正巳、矢萩 実、土屋正昭、柳原政一、工藤寿人、田中弘明、仙波義雄、岩井田正昭

◆ オブザーバー：4名 （平成19年度加盟）

川越山の会（五十雀）

中島利一、加藤宣道、小島 庸、井上深雪

4 総会次第 司会・加藤事務局長

◆ (1) 開会の言葉：森下副会長

規約第26条・定足数の1/2以上（40/58）

◆ (2) により会議成立

会長挨拶：田中会長

埼玉2006ナンガバルバット登山隊・小沢直宏隊員

に対し黙祷

◆ (3) 議事（規約22条2項・評議員より議長を選出・承認）

議長：柳原評議員（小鹿野山岳会）

議事録作成人：岩井田理事（あゆむ山の会）

1号議案：平成18年度事業報告

●各委員長より事業報告

県岳連事務局：加藤事務局長／指導委員会：野村委員長
 国体委員会：長谷川委員長／クライミング委員会：大倉
 委員長／選手強化委員会：小茂田委員長／遭難対策委員
 会：瀬藤委員長／海外登山委員会：塩谷委員長／自然保
 護委員会：代理三ツ木副委員長／ジュニア委員会：鎌
 田委員長／広報委員会：岩井田委員長／企画委員会：村
 岡委員長
 ↓第1号議案：意義なし・原案通り承認

第2号議案：平成18年度決算報告

●加藤事務局長より決算報告

●特別会計決算報告

●平成18年度監査報告：監事：内野安登・佐藤 求
 ↓第2号議案：承認

第3号議案：規約改正について

●村岡理事長より説明

1 会長・理事長・事務局長の任期について
 規約第4章16条の一部改正
 原案「二期二年、最長三期六年とする」

2 顧問委嘱の条件を広げるため
 規約第4章20条の一部改正
 原案「顧問は、学識経験者又は会長経験者から」

【質疑】大宮山岳会・松崎評議員
 顧問についての必要性は
 ↓長いスパンのものも有るので、顧問で補いたい。

↓第3号議案：承認 原案とおり

第4号議案：役員等の一部変更について

●村岡理事長より説明

1 18年度総会での懸案事項
 会 長 田中文男・留任（浦和山岳会）
 事務局長 大倉 至・新任（高体連）

2 退任等
 副会長 武井正男・辞任（深谷山岳会）
 事務局長 加藤富之・退任（深谷山岳会）

3 変更・追加
 ジュニア委員長 鎌田雅浩・新任（高体連）
 （前任の小澤氏に代わって）

関プロ大会実行委員会・委員長：村岡正巳・

新任（加須スポーツクライミングクラブ）

↓第4号議案：承認 原案とおり

第5号議案：加盟団体の入退会について

1 脱退 石ころ山の会・両神山岳会
 2 加盟 川越山の会 五十雀
 3 戸田山遊会 休会願について

↓規約に休会制度はないので、五月の理事会に委任。
 川越山の会 五十雀・中島会長 挨拶

↓第5号議案：承認

第6号議案：平成19年度事業計画

●各委員長より事業計画報告

事務局会計担当：加藤事務局／指導委員会：野村委員長／
 国体委員会：長谷川委員長／クライミング委員会：大倉
 委員長／選手強化委員会：小茂田委員長／遭難対策委員
 会：瀬藤委員長／海外委員会：塩谷委員長／自然保護委
 員会：代理三ツ木副委員長／ジュニア委員会：鎌田委
 員長／広報委員会：岩井田委員長／企画委員会：村岡委
 員長／関東ブロック大会実行委員会：村岡理事長
 ↓第6号議案：承認

第7号議案：平成19年度予算案

●加藤事務局より年度計画報告

・県体協の補助金の制度変更もあり、簡単に説明すると、
 各会からの会費1万円は、各種負担金の支払いで全額
 消える。よって他からの収入が無いと予算が立てられ
 ない。

・40万円の寄付金等を見込んでいます。

【質疑】たらっぺ山の会・坂田評議員

会計担当を専任にする件はどうなったか？

↓19年度より、会計担当者を置く（担当：加藤富之）

【質疑】戸田山の会・岩崎評議員

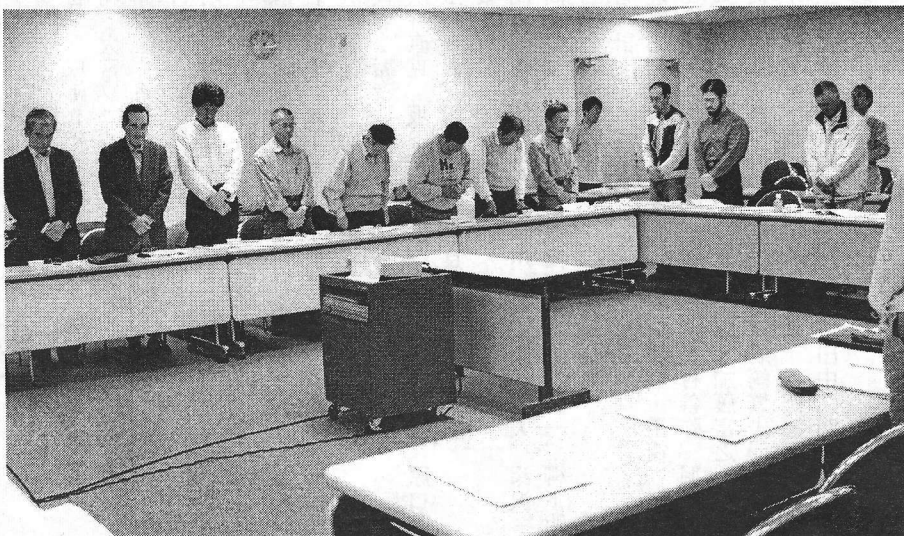
選手強化費補助金の会計を一般会計と分けられないか？

↓19年度より対応

↓第7号議案：承認

その他

1 田中賞について↓森下副会長より説明
 ・理事会等での推薦も無く、今回は該当者無し。



開会に先立ち 小澤直宏隊員に対し黙祷を捧げる

・今後の推薦無き場合の授賞者選考について要検討。

2 関東ブロック大会について

3 県体縦走大会について

4 IFSワールドカップ加須開催について

5 日山協自然保護委員総会の開催について

6 2008高校総体の開催協力について（高体連）

議事終了：終了に伴い柳原議長の任を解く

閉会の挨拶：森下副会長

会議終了。

議事録作成人 岩井田正昭
 （文責） 加藤 富之

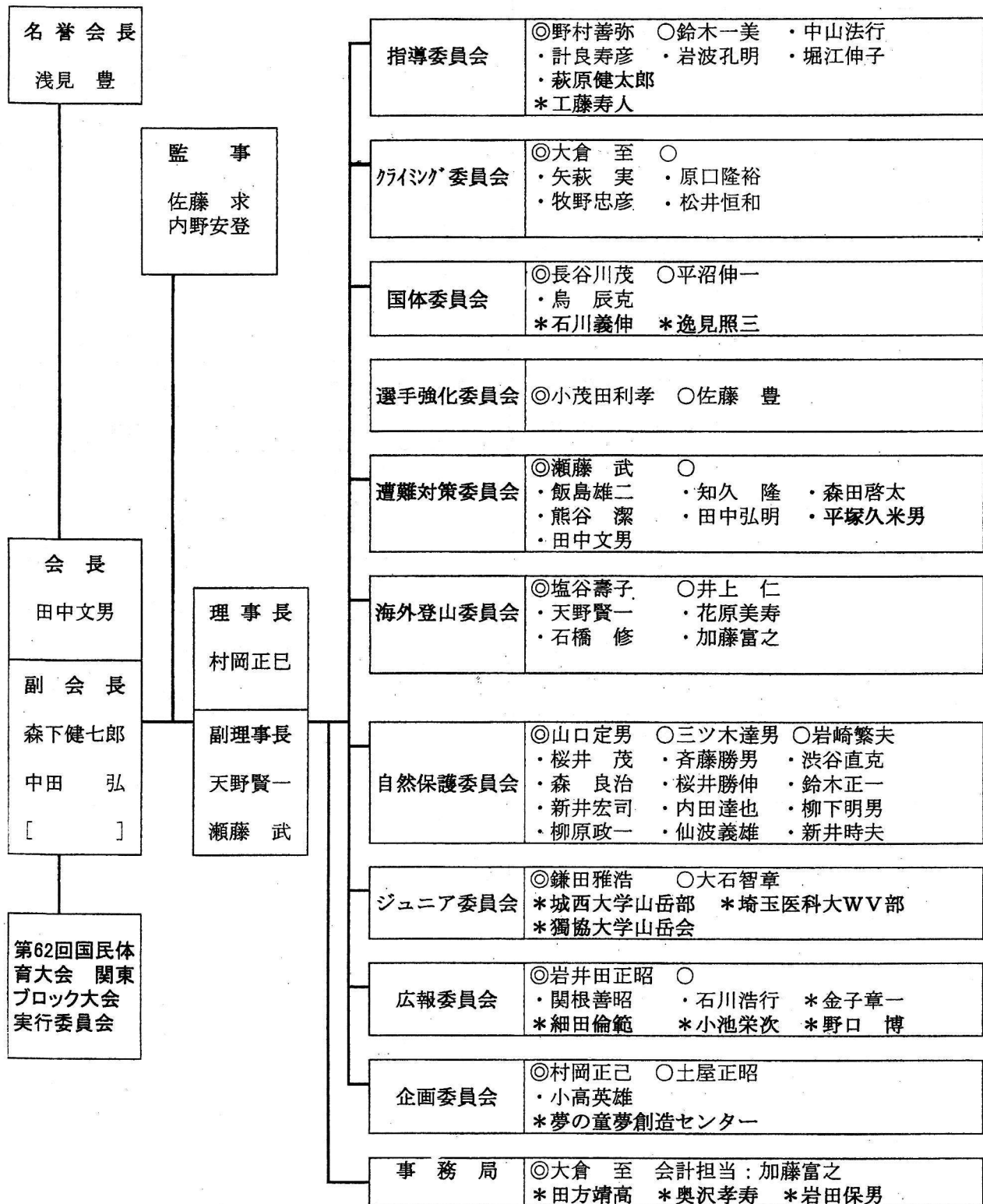
平成18～19年度 埼玉県山岳連盟業務組織図

顧問:

参与: 井上守司・野井 篤・北千恵吉・井古田忠男
北田紘一・新井宏司・大野好司

20070415 一部変更

◎委員長 ○副委員長 ・理事等



*委員会所属の希望のなかった方は、機械的に割り振りました。宜しくお願いします。

平成19年度埼玉県山岳連盟加盟団体

平成18年4月15日 現在

地区岳連名	団体名	代表者	派遣理事名	地区岳連名	団体名	代表者	派遣理事名
1	川口市登山同好会	内野 操	花原 美寿	33	飯能市 奥武蔵ワンダーフォーゲル	新井 宏司	新井 宏司
2	グループ・ト・ピオレ	鈴木 正広	鳥 辰克	34	飯能市 新電元工業山岳部	深田 正博	内田 達也
3	日産ディーゼル山岳部	岩武 成秋	桜井 茂	35	所沢市 所沢市役所山の会	岩田 保男	岩田 保男
4	蕨市 蕨ハイキングクラブ	三ツ木 達男	斉藤 勝男	36	所沢市 エコー山の会	酒井 晴夫	平塚久米男
5	浦和山岳会	田中 文男	田中 文男	37	東松山市 東松山山岳会	福田 義夫	原口 隆裕
6	浦和溪稜山岳会	掛川 統之	瀬藤 武	38	東松山市 ボッシュ山岳部	大澤 靖一	石川 浩行
7	浦和山友会	関根 善昭	関根 善昭	39	毛呂山山岳会	平野 新一	野口 博
8	浦和西岳友会	北田 紘一	渋谷 直克	40	入間地区 山岳同人埼玉	柳下 明男	柳下 明男
9	あゆむ山の会	佐藤 求	野村 善弥	41	入間地区 城西大学山岳部	※	※
10	まほろば山岳会	飯島 雄二	飯島 雄二	42	入間地区 埼玉医科大学WV部	※	※
11	桜草山の会	芝田 信子	堀江 伸子	43	入間地区 森の童夢創造センター	横山 伊佐夫	※
12	さいたま市 連峰山岳会	天野 賢一	天野 賢一	44	小川町 小川山の会	久保 巧	平沼 伸一
13	さいたま市 大宮山岳会	松崎 達	塩谷 壽子	45	戸田市 戸田山の会	大野 幾雄	岩崎 繁夫
14	さいたま市 大宮アルパインクラブ	石倉 昭一	萩原健太郎	46	蓮田市 蓮田山の会	熊谷 潔	熊谷 潔
15	さいたま市役所山岳部アルピナ	西浦 琢郎	西浦 琢郎	47	高体連 高体連登山専門部・東	森下健七郎	大倉 至
16	JR大宮工場山岳部	小川 晃	知久 隆	47	高体連 高体連登山専門部・西	森下健七郎	小茂田利孝
17	我達人信越山の会	山口 定男	山口 定男	47	高体連 高体連登山専門部・南	森下健七郎	鎌田 雅浩
18	山と自然を楽しむ会	原 秀夫	※細田倫範	47	高体連 高体連登山専門部・北	森下健七郎	大石 智章
19	桶川市 桶川山の会	大久保 孟	森 良治	48	加須市 加須スポーツライミングクラブ	古峰 孝	村岡 正己
20	深谷市 深谷山岳会	塚越 国雄	加藤 富之	49	加須市 B7(ボルシチ)	矢萩 実	矢萩 実
21	深谷市 たらっぺ山の会	森 治男	石橋 修	50	加須市 加須ライミングクラブ・ピナ	斎藤 恵	土屋 正昭
22	熊谷市 熊谷アルパインクラブ	小高 英雄	小高 英雄	51	幸手市 幸手山岳会	永沼 勇	金子 章一
23	熊谷市 壁稜山岳会	宮田 征治	桜井 勝伸	52	本田技研埼玉山岳部	岩波 孔明	岩波 孔明
24	熊谷市 熊谷山岳会	長谷川 茂	長谷川 茂	53	小鹿野山岳会	柳原 政一	柳原 政一
25	熊谷市 熊谷岳友会	湯本 昇	石川 義仲	54	MAS(Mountain Athletes in Saitama)	大谷 明	佐藤 豊
26	熊谷市 熊谷山旅会	深沢 巧	竹越 昌信	55	単会加盟 無名山塾	岩崎 元郎	工藤 寿人
27	秩父市 恵流峰会	逸見 照三	逸見 照三	56	単会加盟 獨協大学山岳部	※	※
28	秩父市 吉田山岳会	井上 信太郎	新井 時夫	57	単会加盟 大宮岳稜会	石黒 明	田中 弘明
29	秩父市 岩桜登高会	小池 栄次	小池 栄次	58	単会加盟 槻岳友会	大平 征徳	仙波 義雄
30	本庄市 本庄山の会	高橋 哲也	奥沢 孝寿	59	川越山の会 五十雀	中島 利一	加藤 宣道
31	越谷市 越谷市山岳会	黒田 重晴	鈴木 正一	h19 石ころ山の会, 両神山岳会 脱退			
32	春日部市 東部登高会	原 久三	鈴木 一美	h19 戸田山遊会 休会(理事会審議)			

平成19年度第20回県民総合体育大会山岳競技会（縦走）報告

競技会場 小鹿野・観音山国体コース

競技期日 平成19年4月22日

今回が最終となる山岳縦走競技が観音山で行われ秋田国体・選手選考会も兼ねて行われた。

前日に、県岳連役員、小鹿野関係者等でコース整備、会場準備・清掃を行い翌日のレースに備えた。予報の雨対策も行い、開会当日は村岡理事長、長谷川国体委員長ら役員計20名が参加、県体育協会から来賓として新井様が出席された。

主催者を代表として村岡理事長の挨拶、県体育協会・新井様のご祝辞があり最終レースが盛大に行われた。

参加選手15名であったがラストランにふさわしく快晴、無風にも恵まれ、歴戦のつわもの、早田、本橋、川嶋選手等が参加し、かなりの高速レースが予想された。結果は下記の通り、成年男子の奥宮選手による大会新記録が生まれ、優秀の美を飾った。

また昨年の同大会で少年男子2位となった長谷川選手（県立熊谷高校）が前回の記録を約9分短縮のリベンジ大激走。見事優勝し大会に花を添えた。大会終了後、参加選手、関係者に特大なべ2杯のどん汁が提供され大変好評だった。

（調理担当・戸田山の会・岩崎会長／藤ハギグクラブ・三ツ木会長）・・・大変後馳走様でした。

県民総合体育大会・役員参加関係者は以下の通り

村岡、天野、長谷川、中井、加藤、柳原、大倉、矢萩、塩谷、土屋、井上、岩崎、三ツ木、佐藤、計良、大石、高岡、小茂田、瀬藤、岩井田、渋谷、荒井、横田（計20名）他、小鹿野町関係者 敬称略・順不同 文責 岩井田正昭

	総合順位	氏名	所属	時間	種別	
【成年男子】	1位	◎奥宮 俊祐	陸上自衛隊・大宮	0:46:41	成年男子	※大会新記録
	2位	◎早田 俊幸	本田技研工業	0:47:25	成年男子	
	3位	◎本橋 和之	東京電力	0:48:03	成年男子	
	4位	小河内吉哉	陸上自衛隊・大宮	0:51:30	成年男子	
	5位	川嶋 伸次	東洋大学	0:51:44	成年男子	
	6位	斉藤 和英	陸上自衛隊・大宮	0:52:39	成年男子	
	7位	斎藤 光広	越生七福神TC	0:58:19	成年男子	
	8位	蓮見 尚希	アルピナ	1:04:12	成年男子	
	9位	吉野 聡司	深谷山岳会	1:13:25	成年男子	
【成年女子】	1位	丸山 頼子	大宮山岳会	1:35:17	成年女子	
【少年男子】	1位	◎長谷川 正	県立熊谷高校	0:55:46	少年男子	
	2位	町田 尚城	県立小鹿野高校	1:00:50	少年男子	
	3位	松本 賢明	県立鴻巣高校	1:13:00	少年男子	
【少年女子】	1位	◎加藤 由果	県立小鹿野高校	1:26:43	少年女子	
	2位	落合保奈美	県立庄和高校	1:46:28	少年女子	

◎ 秋田国体・強化選手決定 (h19・5・8 理事会)

※ 昨年の参考記録 本橋和之選手 0:50:21 (h18.4.23・第19回県民体育大会)



第20回県民総合体育大会 関係者全員で記念撮影・春爛漫の小鹿野で

【平成18年度冬山リーダー会報告】

遭難対策委員会・委員長 瀬藤 武

一、期 日

12月 9日

レスキュー講習会

12月10日

レスキュー講習会及び講演会

二、場 所

埼玉県民活動センター三〇七セミナー室

三、内 容

昨年までは、無料で開催しておりましたが、県岳連の財政や参加者の意識アップを考慮し、今回は有料参加としました。

(参加費 五百円) 参加者が集まるかどうか危ぶまれましたが〇〇名もの参加者が集まり、遭難に対する意識の高さがうかがえました。医療講習会の内容としては、一般的な負傷の手当て、救助連絡、シミュレーションの予定でしたが、参加者と講師のしつこさ(?)で最後のシミュレーションは出来ませんでした。

今回新たに、心肺蘇生法の新ガイドラインに基づいて心肺蘇生講習を行い、以前の講習会参加者や消防署の救急講習を受けた方は戸惑っているようでした。

心肺蘇生に関しては、AED教育用のビデオと米国ラスベガスでのAED活用ビデオを見てから講習に入り、蘇生率が著しくアップしたことを納得し講習に入りました。

従来方法は、意識・呼吸・心臓・喉の詰まりの有無を確認してから2回の呼吸後15回の心臓マッサージ以下繰返しでしたが、新ガイドラインでは、極力動作を省き速やかな心肺蘇生を行うことが重要であるとのこと改正されたそうです。

今回は、専講師のほかに、東京都山岳連盟の遭難対策委員である高津さんにも助手をお願いし、講習の迅速化及び内容の充実を図り、参加者は忙しかったようですが遊んでいる人も無く充分な講習が行えました(参加費徴収のせいもあるかもしれませんが)。

翌日は、午前中にクライミングを主に行う人は三分の一引き上げシステムの講習を行い、その他の人は搬送方法の講習を行った。

三分の一引き上げシステムに関しては、参加者にもよりましたが、すぐにシステムの構築の出来る人、出来ない人とはつきり分かれました。常日頃の練習が大切だと思います。

今回のシステム構築を常日頃から練習してほしいものです。使用機材に関しても、すぐに機材を購入する人が居ますが、システム原理を理解しその上で山に持っていく機材を購入していただきたいものです。

他の講習会で、講習会用に機材を揃えても普段のクライミングには持っていないと言う人も多々見受けられます。

その他の搬送方法については、ザック・細引き・雨具及びツェルトの搬送方法を紹介講習を行いました。今回のものはほんの一例です。

午後からは、埼玉県警の秩父警察署山岳救助隊飯田副隊長より秩父山系の遭難状況及び遭難救助ビデオを含めた講演会を行いました。

秩父山系では、中高年(高年?)者の遭難が多く、特に単独行の登山者の遭難割合多くあるとのこと。また、登山届けが出されず初期捜査の遅れ発生しているとのこと。我々岳連関係者においても単独者を見かけた場合は、一声掛けるか挙動を観察することも一考かと思われる。

その後、今年の救助ビデオを上映し、生々しい負傷者、緊迫した救助現場には、参加者も声が出ず熱心に見入っていた。

上映の合間には、「どの様に遭難したか」「なぜ遭難したか」「登山計画は適切だったか」「どこが遭難の分岐点か」「その後の対応は」など非常に細かく懇切丁寧な解説が行われました。

今回の参加者を含め登山している人の多くが1歩間違えば遭難と言う事があつたはずだ。「遭難しなかったから」「無事に帰ってこれたから」ではなく、「なぜ、無事に帰って来れたか」「反省会(?)を行ってみてはどうでしょうか。

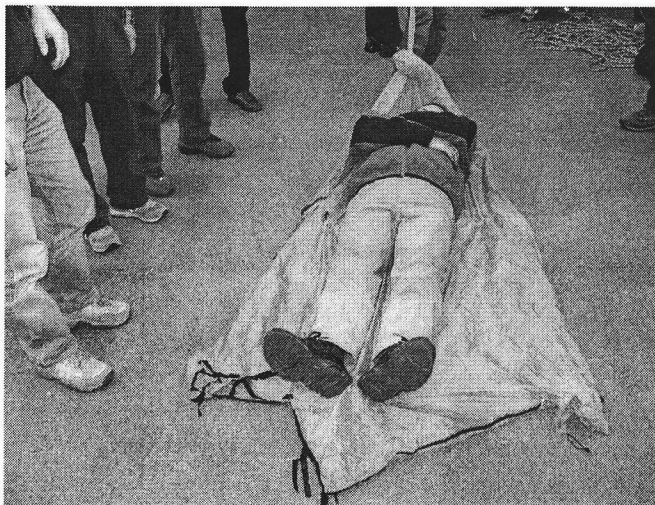
最近、遭難があると遭難からの民事裁判が多くあるようです。民事裁判の場合は、リーダーや所属団体での登山計画の立案から危険回避の為の対応の有無が問われるケースがあります。

昔からの「山登りは危険なんだからしょうがない」は、もはや通用しません。又、遭難者の家族への対応のこじれから裁判になる可能性があります。皆さんで充分検討してみてください。

(記 瀬藤)

※本報告は昨年末に行われたリーダー会(兼レスキュー講習会)の委員会報告です。紙面の都合で今号にて報告いたします。あしからず御了承ください。

広報委員会・岩井田



ツェルトを利用した搬送方法のシュミレーション



引上げ1/3の実技講習に椅子の脚を利用してトレーニング

各都道府県山岳連盟（協会）会長

同 自然保護委員 様

19年度日山協発 号

平成19年 月 日

社団法人 日本山岳協会会長 田中 文男

同 自然保護委員長 若月 東児

平成19年度日本山岳協会自然保護委員総会の開催について（通知）

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より日本山岳協会事業に種々のご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年度の社団法人 日本山岳協会自然保護委員総会は、2,000m の連山、原生林と渓谷美を誇る奥秩父山系の山々に囲まれ標高 1,101m に位置し杉や檜の林に包まれた由緒ある三峯神社にて紅葉の素晴らしい時期に下記の通り開催する事になりました。

つきましては、貴山岳連盟（協会）から自然保護委員（又は代理）等の多くの皆様にご出席をお願い致します。

開催スローガン【綺麗な『空気』『水』『大地』を未来に繋ごう！！】

【奥秩父の原生林と渓谷を守ろう！！】

記

1・目的 登山領域における山岳環境保全のため抱えるさまざまな課題について協議するとともに、各地域での活動状況について情報交換をおこない、自然保護の重要性を全国に発信する。

2・期 日 平成19年11月3日（土）～11月4日（日）

3・会 場 〒369-1902 埼玉県秩父市三峰298-1

三峯神社宿坊 TEL：0494-55-0241（代）

4・主 催 社団法人 日本山岳協会

5・主 管 埼玉県山岳連盟

6・後 援 埼玉県（予定）、秩父市（予定）、小鹿野町（予定）、埼玉新聞社（予定）、テレ玉（テレビ埼玉・予定）、西武鉄道（予定）、秩父鉄道（予定）、武蔵野銀行（予定）、三国コカコーラボトリング社（予定）、竹の館、サイサン環境基金（予定）

7・会議日程

第1日 11月3日（土）受付・総会・講演会・懇親会

・受 付 11時50分から13時00分・・・三峯神社：興雲閣玄関前

・総 会 13時10分から16時00分・・・三峯神社：報徳殿

・基調講演 16時10分から17時30分・・・三峯神社：報徳殿

☆ 秩父市文化財保護審議委員会・委員長 千嶋 壽氏（ちしまひさし氏）

☆『奥秩父の自然と風土』・・・仮題

・タ 食 19時00分から21時00分

第2日 11月4日（日）現地視察

・朝 食・・・7時～7時40分 食事後各視察コースに別れ出発

<正規コース>霧藻ガ峰往復：歩程時間：約4時間

<オプション：A>雲取山荘⇄雲取山往復を含み：歩程時間約：6時間

<オプション：B>白井差新登山道より両神山往復：歩程時間約：5時間・定員30名

※ 尚、オプション、A・Bコースは有料となります。

8・参加費 15,000円（交通費は全て参加者の自己負担です）

9・その他 細部は別紙自然保護委員総会開催要項にて確認して下さい。

【埼玉県山岳連盟指導委員会からのお知らせ】

1・指導員総会の案内

埼玉県山岳連盟所属の日本山岳協会公認指導員の皆様におかれましては、日頃より岳連活動に関し、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、平成19年度指導員総会・研修会を左記の通り開催しますのでお忙しい中、大変恐縮ですが万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。

また、総会に併設して指導者研修会を兼ねまして、開催致します。(4年に1度の指導員更新の研修会の一環)

日時：2007年6月24日(日) 17:30~19:30
場所：大宮ソニック 602会議室

内容：① 指導員総会報告(予算、行事、指導員制度について、日本山岳協会指導員総会報告)

② フリーディスカッション
(指導員としての今後の活動について)2・指導員資格更新による県岳連 指導員会費納入のお願い
(2006年10月、2007年4月更新の皆様へ)

*公認スポーツ指導者「登録証」がクレジット機能付カードになり皆様は送金して戴いた事と思います。

(指導員資格を更新されない方は野村まで、ご連絡お願いいたします)(この送金に関しては体育協会と日本山岳協会の更新登録費になります)

*県岳連の指導員会費として別に、4年に1回の更新時ですので、4000円の送金をお願い致します。

■振込先 下局記号(10310) 番号(68909771) ホリエノブコ(指導委員会・堀江さんの口座になります)

*振込みと同時に登録更新カードに、該当内容を記載し、所属山岳会の確認欄にも記入の上、野村まで同封の封筒にて、返信をお願いします。

*振込み確認後、指導委員会 印を押して日本山岳協会にカードと登録申請いたします。

■お問い合わせは 指導委員会・委員長 野村善弥あて
〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-15-34

tel/fax 048-885-1470 e-mail <nom@ybu.ne.jp>
携帯 090-4847-7750 (伝言メモに伝言ください)

全国高等学校登山大会について

埼玉岳連総会資料・高体連登山専門部

2007・4・15

「登山大会で、どんなことを競うの?」これは一般の人からよく聞かれる質問です。国民体育大会(通称「国体」)にも同じように登山がありますが、こちらは「山岳競技」といい、決められた地点から次の地点までをいかに速く登るかという山岳マラソンの競技と、スポーツクライミングからなる競技です。

それに対して高校総体の登山は、速さを競うものでなく、登山隊を編成してから解散するまでの4日間を通して、「高校生として登山技術・体力・知識がどれほど身に付いているか」という観点で総合的に審査された結果、優秀な学校が表彰されるものです。

成績は他校との競争によるのではなく、それぞれのパーティーが日頃培った実力をいかに発揮するかにかかっています。このことから登山競技と言わず「登山大会」と呼んでいます。

審査は、行動(体力・歩行) 40点、生活(装備・設営撤収・炊事) 25点、知識(気象・自然観察・計画記録・救急) 30点、態度(パーティーシップ・マナー) 5点の配点で、さまざまな観点で評価されるといった、他の競技にはない特徴があります。

参加チームはパーティーを基本にし、1パーティー選手4名・監督1名で構成されています。各都道府県の代表、男子46パーティー(沖縄県には登山部がないので現在不出場)を一つの隊(A隊)とし、女子46パーティーを一つの隊(B隊)としています。また男子でA隊とは別に、ブロックごとに選ばれた23パーティーが「種目男子縦走」としてひとつの隊(C隊)を構成して4日間それぞれ隊ごとに行動を共にします。あわせて最大115パーティー、575名の選手・監督が参加するので。

それぞれの審査については、A隊・B隊に各6名、C隊に4名の審査員が行動を共にしながら、各パーティーを4日間にわたって評価します。この他に、各都道府県の総監督(1名)の46名と、次年度開催県(奈良県)の大会視察、コース視察の方々を合わせて、約50名で「コース視察員」としてひとつの

隊(D隊)を編成して登山行動をするともに、行動中の参加選手を激励します。

一方、この大会は多くの方々による長年の準備と協力に支えられて運営されています。各コース隊には隊長・副隊長・班長・副班長・通信・支援・救護等の行動役員の方々、幕営地で準備・管理する設営隊の方々、大会運営本部で運営を支える救護・通信・支援等の役員の方々、開会式・閉会式等で大会を縁の下で支えてくださる開催地(秩父市・小鹿野町)の市町民・職員の方々、埼玉県山岳連盟、秩父高校、秩父農工科学高校、小鹿野高校をはじめ、県内各高校の教職員・運営補助員・県内登山部OB・OG等、総数約630名の協力により今大会が開催されます。

※本文は評議員総会時の資料より転載しました。広報委員会

【事務局便り】

すでにご案内の通り、平成19年度・負担金の納付について、お願いしております。6月末までに左記に納入・振込お願いいたします。

1. 負担金 連盟規約の通り
2. 納入期限 平成19年6月末
3. 納入先 〆案内の通り
埼玉県山岳連盟 会 長 田中 文男宛
埼玉県山岳連盟 事務局 大倉 至
〒340-0217 北葛飾郡葛飾町野宮5-4-15
tel/fax 0480-58-1507
4. 問合せ先 〆案内の通り
埼玉県山岳連盟 会 長 田中 文男宛
埼玉県山岳連盟 事務局 大倉 至
〒340-0217 北葛飾郡葛飾町野宮5-4-15
tel/fax 0480-58-1507

e-mail hi26534@ha.beikoame.ne.jp

【編集後書】

今年度は関東ブロック大会(加須・小鹿野)、IFSCワールドカップ(加須、日山協・自然保護委員会総会(秩父・三峯)、個人的には8月のナンガBCのトレッキング。

なにやら目白押し的大型のイベントに圧倒されそう。また来年は『全国高等学校登山大会』が埼玉県で行われるという。登山大会についての高体連のアナウンスがあるが、これが登山の原点かな?とふとかんがえる。

広報委員会・岩井田 正昭 <niwaida@mua.biglobe.ne.jp>